

中小企業

とっとり

No.795

2024

4

令和6年4月1日発行

中央会

臨時総会を開催

令和6年度中央会支援事業
希望組合募集

Contents

中央会	4
ちいき組合情報	8
組合Q&A	10
県内先進組合事例	11
鳥取県の中小企業景況	12
INFORMATION	14
中央会の動き	15
中央会共済制度のご案内	16



©鳥取県「桜と列車(大岩駅周辺)」



鳥取県中小企業団体中央会

<https://www.chuokai-tottori.or.jp>

令和6年度中央会事業計画大綱概要

「変革の時代」^と連携と革新で

新たな事業価値の創造

地域産業の持続的な成長発展を推進

本会は3月13日、米子市「米子コンベンションセンター」にて臨時総会を開催。令和6年度事業計画大綱・収支予算案等の各議案が審議・承認され、新年度をスタートさせる。

審議された議案は、事業計画大綱(案)並びに収支予算書(案)、会費及び役員負担金の賦課・徴収方法、共済事業特別会計事業計画書(案)並びに



臨時総会の様子

収支予算書(案)、会館建設に係る基本財産特別会計事業計画(案)並びに収支予算書(案)、会館建設協力金、常勤役員報酬、取引金融機関決定、商工中金政府保有株式購入の8議案。

令和4年度からの3カ年計画として、支援活動の重点テーマを『変革の時代！連携と革新で新たな事業価値の創造』と定める中、3カ年の最終となる本年度は、組合等連携組織の設立はもとより、既存組合の活性化を全力で支援するとともに、新会館建設に伴い昨年9月に鳥取県と締結した連携協定に基づき、県内中小企業の支援強化や脱炭素化の推進も図っていく。また、経営力強化支援では、コロナ後の事業再構築や経営革新、組合等のDXへの対応や働き方改革の推進、ものづくり等による新事業展開や生産性向上のほか、国内外の販路開拓を支援する。さらに、人手不足、人材確保・定着への対応として、PR映像を活用した情報発

信の強化や新入社員向け研修等を支援するほか、事業継続のためのBCP作成支援や事業承継の円滑化に向けた支援を行う。その他、消費税のインボイス制度や環境問題への対応支援、県内就職に結びつけるインターシップ事業等を推進し、本県中小企業の事業価値を高め、地域産業の持続的な成長・発展を目指していく。

支援活動の重点6項目

- ① 設立・創業の推進
- ② 既存組時の活性化・組織基盤の強化
- ③ 新事業展開・経営力強化及び販路開拓の推進
- ④ 人材確保・定着・育成、働き方改革の推進
- ⑤ ZER Ready対応の新会館建設に伴う脱炭素化への取組と機能強化
- ⑥ 政策提言の推進

(総務部 砂口)

事業承継の円滑な

進め方を学ぶ

～組合リーダー向け 人材育成セミナー開催～

本会は、3月13日、米子市「米子コンベンションセンター」において、講師に鳥取県事業承継・引継ぎ支援センター・尾崎澄夫センター長を招へいし、「事業承継を円滑に進めるために重要なこととは」をテーマに組合リーダー向け人材育成セミナーを開催した。

鳥取県は、帝国データバンクの調査で後継者不在率が71.5%と全国トップ水準となるなど喫緊の課題となるなか、当支援センターの支援状況や取組(マッチング)事例について説明を受けた。また、事業承継の進め方として①現状の把握、②課題の整理、方針の決定を行い、事業承継計画の作成などにより後継者にもわかるように「見える化」を図ることが重要であるとの示唆を受けるなど、参加者にとって大いに参考になった。

(米子支所 西尾)



セミナーの様子



組合事務局向けセミナー(会場)

組合事務局機能強化を 目的としたセミナーを開催

本会は2月28日に鳥取市「対翠閣」、3月6日に米子市「スマイルホテル米子」にて事務局向けセミナーを開催した。

セミナーでは、「組合会計の基礎及び税制対応における留意点」をテーマとして、森・齋藤税理士法人の税理士・森耕生氏より、組合会計の基礎をはじめ、剰余金処分案の必要性、インボイス制度及び電子帳簿保存法等制度改正の解説、中小企業税制の紹介等について

示唆を受けた。また、鳥取県よろず支援拠点・チーフコーディネーター・田原明夫氏より、よろず支援拠点の取組、相談・支援の流れ、支援実績、支援事例について説明を受けた。その後、本会より組合年度末処理について、事業年度終了後の通常総会開催までの流れ、決算関係書類の提出について説明した。

東部、西部の会場を合わせて組合事務局役員約40名が参加し、参加者からは「会計実務、インボイス、経営支援など参考になる話が多くとても勉強になった」など意見があった。

(企画振興部 安陪)

映像で業界・組合をPR

組合員企業の人材確保に一役

(協)和田浜工業団地(理事長・金田孝成氏)、西部トラック事業(協)(理事長・川上和人氏)、智頭町複業(協)(理事長・寺谷誠一郎氏)の3組合は、本会の令和5年度人材確保PR支援事業費補助金を活用し、組合や業界を紹介する映像を制作した。映像はYouTubeで配信を行っている。

当事業は、映像によって業界・組合員企業の業務や魅力、仕事に対する想い等を紹介し、幅広い層に興味を持ってもらうことで、人材確保に苦慮している組合員の人材確保に対し支援しようとする取り組み。



(協)和田浜工業団地のPR動画



鳥取県西部トラック事業(協)の求人PR動画



智頭町複業(協)のPR動画

映像では、業務内容や現場について紹介するとともに、組合員企業の職員に対するインタビュー等も網羅し、文字や写真だけでは表現しづらい業界の情報や熱意、働きやすさ等を伝えて

いる。なお、当事業は令和6年度も実施、人手不足解消に向け組合員企業をバックアップしようとする組合を募集する。

(総務部 斧村)

中央会新会館建設の近況報告

本会新会館の建設工事が本年1月から本格的にスタートした。すでに建物を支持するための杭工事を終え、現在は建設予定地を掘削し基礎工事を進めている。4月にかけて基礎工事が完了すれば、5月頃からは鉄骨工事を進めていく予定としている。

◀工事の状況



知って得する！

令和6年度 中央会支援事業

中央会事業を活用してみませんか？

支援希望組合等を募集

第1回募集期間

4月1日～6月30日

組合等の『諸問題解決』や『新たな取組み』を支援

連携組織活性化サポート事業

【内容】組合等連携組織が直面する法律、労務、財務等の緊急問題の解決や組合の活性化に資する取り組みの他、多様な連携グループが行う新たな活動に対して支援対象のニーズに合った支援を総合的に実施します。

【対象経費】
謝金、旅費、原材料費、借損料、通信運搬費、消耗品費等

【支援上限額】
160,000円

【自己負担割合】
総事業費の3分の1

支援のイメージ

- ・ 新たな施策に対応した研修会の開催
- ・ 先進組合事例研究のための県外先進地視察及び交流会の開催
- ・ 組合運営等に係る課題解決のための専門家派遣
- ・ 外部環境の変化や世代交代に対応した組合の新展開を図るための組合ビジョンの作成

【支援事例】
「オートオークション事業の活性化」をテーマに視察研修を実施



組合等の『働き方改革』への対応を支援

働き方改革支援事業・専門家派遣

【内容】専門家により働き方改革関連法をはじめ最新の労務関連法改正について示唆及び助言を受け、働き方改革への対応や人材確保に向けた体制を整備するための就業規則の改

【対象経費】
専門家謝金・旅費、消耗品等

【支援上限額】
150,000円

【自己負担割合】
自己負担なし

【募集件数】
2組合

リスクの発生に対応する『事業継続計画』を支援

組合BCP作成支援事業

【内容】震災や豪雨、サプライチェーン分断の影響などのリスクへの対応として事業継続計画（BCP）の作成をしようとする組合及び組合員に対し支援を行います。

【対象経費】

専門家謝金・旅費、消耗品等

【支援上限額】
570,000円

【自己負担割合】
自己負担なし

【募集件数】
1組合

【支援事例】
BCP策定ワークショップを開催



専門家を活用し
物価高騰、人材確保等
地域課題の解決を支援

鳥取県連携協定

ソリューション事業

【内容】中山間地域等が抱える課題（買い物難民対策、物価高騰対策、人材不足など）について支援チームを結成し、本会有資格者（中小企業診断士等）や外部専門家より経営革新や新業態への転換などの助言をうけ地域の担い手となる人材確保や過疎地域の買い物困難などの地域課題対応、物価高騰・円安の影響への対応などについて、県内外の先進事例調査研究を行いながら、ソリューション（解決策）の模索及び実行について支援する。

【対象経費】

〈専門家派遣〉

専門家謝金・旅費、消耗品等

【支援上限額】130,000円

【自己負担割合】自己負担なし

〈先進事例調査研究〉

委員旅費、会場借料

【支援上限額】260,000円

【自己負担割合】自己負担なし

県外の商談会等に参加して「販路開拓」を支援

① 国内販促ツール作成支援事業

【内容】ECサイトの構築等の国内向け販促ツールを作成するなど、ウィズコロナに対応した販路開拓の取組みを行う組合等に対し支援を行います。

【対象経費】国内販促ツール制作費等

【支援上限額】470,000円

【自己負担割合】総事業費の3分の1

【募集件数】2連携組織

〈支援事例〉

商店街の活動をPRするための組合MAPを作成



② 商談会等参加支援事業

【内容】大消費地で開催される当会の指定する商談会等に出展し、販路開拓を行おうとする組合等に対し支援を行います。

【対象経費】

出展料、旅費、設営費等

【支援上限額】

900,000円

【募集件数】

2連携組織

〈支援事例〉

日本酒フェア2023出展支援



海外への商圏拡大を支援

海外展開プロモーション支援

【内容】越境ECサイト等を通じた商品の販路開拓を図るため海外向け自社Webサイトやパンフレットの多言語化、自社のPR映像の制作等、海外への商圏拡大に取り組みむ組合等に対して支援を行います。

【対象経費】

海外販促ツール制作費等

【支援上限額】

300,000円

【自己負担割合】

総事業費の3分の1

【募集件数】1連携組織

〈支援事例〉

海外販路拡大のためのHP作成支援



組合・組合員の「事業承継」を支援

事業承継円滑化支援事業

【内容】専門家の助言を得ながら、ワークショップ形式で取引先との関係や経営に係る様々なノウハウ等経営資源を見える化し、事業を円滑に承継していくための支援を行います。

【自己負担割合】自己負担なし

〈支援事例〉

専門家によるワークショップ



組合員の『人材確保』のための
取組みを支援

人材確保・定着支援事業

【内容】多くの業種で人材確保が重要課題となっているなかで、業界のイメージアップを図るためのPR映像を制作し、人材確保をしようとする組合に対し支援を行います。

【対象経費】検討委員会開催費用（謝金、会場借料、印刷費、消耗品費等）、PR映像制作費

【支援上限額】500,000円

【自己負担割合】

PR映像制作費の3分の1

【募集件数】2組合

〈支援事例〉

人材確保のための動画作成支援



組合等の『デジタル化』による
経営強化を支援

連携組織DX対応支援事業

【内容】専門家によりデジタル化対応策やITの活用策について示唆並びに助言を受け、デジタルトランスフォーメーション(DX)による事業の効率化、事業活動の向上を図っていくための支援を行います。

【対象経費】

専門家謝金・旅費、消耗品等

【支援上限額】130,000円

【自己負担割合】自己負担なし

【募集件数】2連携組織

〈支援事例〉

DX対応をテーマとした専門家派遣事業(研修会)を実施



SDGs対応による
経営強化を支援

SDGs・カーボンニュートラル
普及・対応支援事業

【内容】専門家によりSDGsや脱炭素化社会に向けた取り組みについて示唆並びに助言を受け、事業活動の向上を図っていくための支援を行います。

【対象経費】

専門家謝金・旅費、消耗品等

【支援上限額】130,000円

【自己負担割合】自己負担なし

【募集件数】2連携組織

〈支援事例〉

SDGs対応についての専門家派遣事業を実施



小企業者組合の
『研修会の開催』を支援

小企業者組織化特別講習会

【内容】小企業者組合における組織活動の円滑化を図るために開催するセミナーを支援します。

【対象経費】

謝金、旅費、借料・損料、資料費、

通信運搬費等

【支援上限額】150,000円

【自己負担割合】

総事業費の3分の1

〈支援事例〉

「インボイス制度の実務と対応」に関する研修を実施



組合等「設立・新規創業」による初期の事業展開を支援

設立組合等事務局体制整備事業補助金

【内容】創業・開業1年以内の事業協同組合、企業組合、LLPの初期の事業展開活動(①賃借料や設備等の初期投資、②販路開拓等に係るパンフレットの作成、③展示会への出展費用等)を支援します。

【対象経費】パンフレット作成費等
 【支援上限額】150,000円
 【自己負担割合】
 総事業費の2分の1
 【募集件数】2連携組織

「諸制度改正」や「インボイス制度」に対応を支援

① 制度改正等課題解決環境整備事業・専門家派遣

【内容】法改正や各種制度改正に伴う事業環境の変化によって生じる課題に対して専門家を派遣し、課題解決を支援します。

【対象経費】
 専門家謝金・旅費、会場借料等
 【自己負担割合】自己負担なし

〈支援事例〉

「電子帳簿保存法への対応」に関する研修について支援



② 事業環境変化対応型支援事業・専門家派遣

【内容】消費税のインボイス制度への対応に向けて生じる課題に対して専門家を派遣し、課題解決を支援します。

【対象経費】
 専門家謝金・旅費、会場借料等
 【自己負担割合】自己負担なし

〈支援事例〉

「インボイス制度対応」をテーマとした講習会について支援



小企業者組合の「取引力強化」のためのHP・チラシ作成等を支援

取引力強化推進事業

【内容】中小企業・小規模事業者が連携して、共同事業の活性化や受注促進等取引力の強化促進を図るために行う取り組みに対して支援します。

【対象経費】組合事業や組合員企業の紹介等を行う組合ホームページやチラシ等の作成費等
 【支援上限額】550,000円
 【自己負担割合】
 総事業費の3分の1

〈支援事例〉

取引力強化・収益性改善のためのホームページ作成支援



組合・組合員の「生産性向上」や「新たな取組み」を支援

鳥取県産業未来共創事業

【内容】新たな事業展開、生産性向上などに積極的に取り組む県内中小企業の皆様に企業の成長段階や経営戦略に応じて支援します。

【支援対象】

県内中小企業者・小規模事業者

【対象事業】

- ① 商品開発・販路開拓等
- ② 設備投資

※県の予算状況により変更となる可能性があります。

〈支援事例〉

新事業展開としてドライフラワーを使ったフラワーシュガー等の新商品開発を実施するとともに製造設備を導入。今後、量産、HP、SNSを活用した全国展開により売上向上、収益改善を図っていく



※総事業費とは、対象となる事業に要する経費をいいます。
 ※詳細は本会までお問合せ下さい。

努力も才能もいらぬコミュニケーションの極意学ぶ

鳥取県中小企業青年中央会(会長・菅楚高典氏)は、本会・連携組織活性化サポート事業を活用し、3月9日、倉吉市「鳥取県立倉吉未来中心」においてビジネス教育事業を実施した。

講師に(株)ワタケン代表取締役・渡部建氏を迎え、「努力も才能もいらぬコミュニケーションの極意」をテーマに研修を行った。

研修ではコミュニケーションを図る際、言語情報が7%、聴覚情報が38%、視覚情報が55%の割合で相手に影響を与えるメラビアンの法則や、組織の中で自分の考えや気持ち

を安心して発言できる場所となる心理的安全性について説明を受けるとともに、人が集まる楽しい場所は、盛り上げる人(笑わせる人)と盛り上がる人(笑う人)で成り立ち、次もまた会いたいと思われる人は、盛り上がる人(笑う人)、相手の話をよく聞き、よく笑う人となることが努力も才能もいらぬコミュニケーションの極意と示唆を受けた。

参加者からは、「日ごろから意識して実践し、コミュニケーション力を高めていきたい」など意見があった。(組織支援部 上根)



研修会の様子

歴史・文化香る商店街

たくみ珈琲店をグランドオープン

新鳥取駅前地区商店街振興組合理事

長・真嶋茂氏は、3月9日、「たくみ珈琲店」のグランドオープンに併せ記念式典を開催した。

本商店街は、民藝館通りを中心に歴史・文化香る商店街をテーマに鳥取市中心市街地の賑わい創出、地域活性化に取り組んでおり、このたび経済産業省「面的地域価値の向上・消費創出事業補助金」並びに鳥取市「大型空き店舗入居促進補助金」を活用し、地域の人々の交流促進、県外や海外の観光客の滞在時間の延長など目的とする「たくみ珈琲店」を開設した。

記念式典では真嶋理事長が「商店街を取り巻く環境が厳しい中、鳥取市文化財団からの声かけもあり昨年から空き店



真嶋理事長より挨拶

舗への出店を進めてきたが、国、県市の協力もあって、3月オープンにこぎつけることができ嬉しく思っている。鳥取駅を降りて、鳥取民藝美術館で「民藝を見て、たくみ割烹店で食べ、たくみ珈琲店で交流し、商店街でゆっくり買い物してもらいたい」と挨拶。

特別講演会では株式会社山崎亮事務所の山崎亮氏が講師となり「民藝とまちづくり」をテーマに民藝とは人々が「学び、人々をつなげる」もの。地元がしっかりと支え手となつて応援していく必要があると述べ、パネルディスカッションでは山崎講師のほか(公財)鳥取民藝美術館の木谷常務理事や新鳥取駅前地区商店街の真嶋理事長など参加して、商店街の取り組み、えきまえマップの制作や「たくみ珈琲店」に期待する役割など話し合われた。

(組織支援部 北浦)

こだわりの藍染め商品の販路拡大を目指す

企業組合藍染工房ちずぶる(理事長・西山美彩子氏)は、本会・販路開拓支援事業を活用し、3月1日～11日の11日間、兵庫県神戸市「神戸マルイ」において、ポップアップショップとして出展した。

当組合は、智頭町の女性達で設立して以来、地域で育てた原料を使うなど「Made in Chizu」にこだわった藍染め商品の製造、販売を行っており、県内外に多くのファンを抱えている。出展先には洋服や小物をはじめ数多くの商品が並べられ、立ち寄った新規のお客様やちずぶるファンの方々が多数訪れるなど、商品の魅力やこだわりを広くPRし、販路拡大を目指した。

西山理事長は、「ちずぶるファンの方々を始め、老若男女問わず多くの方に来店していただき、商品の魅力をPRすることができた。新規のお客様をファンにできるようなニーズに応えながら、これからも良い商品を作っていきたい」と今後の抱負を語った。



出展の様子

(組織支援部 柳原)

カードゲーム体験を通じて

SDGsの取り組みを促進

協同組合鳥取卸センター(理事長・渡邊健次氏)は、2月19日、鳥取市「ホテルニューオータニ鳥取」において、本会SDGs・カーボンニュートラル普及・対応支援事業を活用し、SDGsの取り組み促進に向けた専門家指導を受けた。

専門家には、ごうぎんエナジー株式会社・営業戦略部副部長・井上光悦氏を招聘し、「組合活動におけるSDGsの必要性について」をテーマとして、SDGsの概要、17項目の内容のほか、新

事業創造のきっかけとして、情報が溢れていても個人のビジョンが明確であれば必要な情報をつかみ取ることができ、個人の思い(Wish)が新規事業の起点となると説明を受けた。また、SDGsアウトサイドインカードゲームの体験を通じ、パートナーシップの重要性やSDGsに関する事業創造への考え方を具体的に学ぶことができた。

参加者からは「SDGsに対する理解が深まった、今後の事業の参考にしていきたい」など



研修会の様子

の意見があり、有意義な研修となった。(企画振興部 名越)

共同配車事業等受注促進のため

組合HPを制作

鳥取県西部トラック事業協同組合(理事長・川上和人氏)は、本会販路開拓支援事業国内取引拡大支援事業を活用し、組合ホームページを制作した。

当事業は、「2024年問題」を目前に控え、時間外労働時間上限規制の適用による輸送能力の低下、ドライバー不足といった喫緊の課題への対応策として取り組んだもの。ホームページでは、共同配車

事業のPRに加え、組合員各社のホームページへのリンク、組合員各社の採用情報を掲載するなど充実した内容となった。

川上理事長は「燃料代価格の高騰・高止まり、目前に控えた「2024年問題」など課題が山積しているが、荷主の適正な運賃負担や多重下請構造の改善などによる収益力強化が求められるなか、組合ホームページが取引拡大の一助となればと考えている」と抱負を述べた。(企画振興部 山崎)



組合HP : <https://seitora-tottori.jp/>

来年春・鳥取県立美術館オープン!

商店街の活性化プランを取りまとめ

倉吉銀座商店街振興組合(理事長・小林健治氏)は、3月12日、倉吉打吹回廊において第4回ワークショップを開催し商店街の活性化プランを取りまとめた。

本事業は鳥取県商店街振興組合連合会の「商店街活性化ビジョン作成に係る調査研究事業」を活用し、(株)コープランの吉川健一郎氏を専門家に招聘して、来年春の鳥取県立美術館オープンに向けた商店街の活性化策について検討してきた。

今回のワークショップでは、大分市・山口市の県外先進事例調査の報告と併せて、検討してきた倉吉銀座商店街の活性化プランについて意見交換した。

吉川氏からは「アートの商店街の確立」、「発信力の強化」、「商店街に来てもらうきっかけづくり(集客)」、「まちなかを回遊してもらうきっかけづくり」の4つを基本方針に、それぞれの具体的な取り組みが示された。

参加者からは「各団体・行政との連携体制を構築すべき」といった意見のほか「若い人のアイデアが出せる場が欲しい」、「各店舗の魅力を点から面へ広げる」、「学校帰りの生徒が集まれる場をつくる」、「空き店舗を活用し美大生が卒業制作した作品を展示する」といった意見が出された。

小林理事長は「今回のワークショップが今後の商店街を考える良い機会。これを機に鳥取県立美術館との連携や他団体との交流をスタートしたい」と抱負を語った。(組織支援部 北浦)



第4回ワークショップの様子

徳島県のBCP取組について学ぶ

鳥取女性中央会

鳥取女性中央会（会長・滝口美寿穂氏）は2月27日、本会組合BCP支援事業を活用し、徳島市において、とくしまレディース中央会とのBCP連携交流会を実施した。

初めに、とくしまレディース中央会会員企業3社（㈱鳴門のいも屋、㈲天野鉄工所、㈲酒牧製作所）を視察し、BCP策定の経緯や事例について伺った。南海トラフ巨大地震等の予測できない危機事象に対して従業員とその家族を守るため、基本方針を簡単かつ明確にし、マニュアルの作成や従業員全員参加の避難訓練の実施、また地域貢献も視野に入れた備蓄可能な資源の再点検や遮水扉の開発・販売等具体的な取組について示唆を受けた。

続いて徳島市内のホテルへと移動し、両団体会員による意見交換会を実施した。今回の事例を知り自社の安否確認の方法や避難場所の受入れ体制等課題が見つかったという声があったほか、非常時には会員同士が連絡を取り合い、協力可能な企業を紹介・提案したいなど、異業種で構成される女性会ならではの連携に繋がる意見も上がった。

滝口会長は、「徳島県会員の災害やB

CP策定に対する意識の高さには大変驚かされた。今回の視察で基本方針から検討していく流れや従業員全員を巻き込んでウォークスルー避難訓練等を実践している事例を聞き、会員もBCP策定の必要性について身近に感じたのではないかと思う。とくしまレディース中央会とは令和元年度より交流を続けているが、災害時にも異業種間・同業種間で事業継続の助けとなるよう協力していきたい」と話している。

（総務部 斧村）



意見交換会の様子

組合 Q&A

日頃から、組合の運営や管理について様々な疑問がでてくるとは思いますが、ここでは中央会によく寄せられるご質問について代表的なものをご紹介します。



【役員】

① 役員が辞任した時の補充について

理事・監事のうちその定数（下限）の3分の1を超える者が欠けたときは3ヶ月以内に補充しなければなりません。

② 員外理事・監事について

定款で員外理事の規定を設けておけば、組合員以外からも理事総数の3分の1までを役員に選出することができます。「員外理事」を置く目的は、広く外部の意見を聞くためや、組合事業運営に精通した人材を広く外部から起用するためなどがあります。

③ 定款を変更する場合の手続きについて

定款を変更する場合は総会の議決が必要であり、議決の方法も総組合員数の半数以上の出席を得てその議決権の3分の2以上の賛成を得なければなりませんし、所管行政庁の認可を受ける必要があります。

県内先進組合事例

令和5年度資料収集加工事業調査

毎年度、全国中央会と都道府県中央会が連携し、環境変化に対応した共同事業など先進的に取り組んでいる組合の諸事例を調査・収集しています。

今回は、角盤町商店街振興組合（テーマ「メディアを活用して取り組んだ事例」）を選定し、先進組合事例として取りまとめましたのでご紹介します。

テーマ
商店街の消費者回帰に話題催しと逸品情報発信拠点整備

角盤町商店街振興組合

背景と目的

百貨店を核店舗とする中心市街地の商店街であったが郊外の大規模ショッピングモールの進出や大型店の閉店、相次ぐ個店の閉店による空き店舗など、消費者の足が商店街から遠のき集客力が減少し商店街の衰退が顕著となっていた。この危機を脱するため撤退した商店街内の大手店舗の跡地駐車場を活用した「地ビールフェスタ」の定期開催、また同商店街にしか扱えない県内外の逸品販売拠点の物産館、商店街内の個店のこだわり商品を紹介するスタジオ等の情報発信拠点を設置した。

取組みの手法と内容

組合員だけではなく行政のトップも交えた実行委員会を設置し、商店街から離れていった消費者の回帰を図るための活動と

して、令和元年に県内外で話題となっていた「地ビールフェスタ」の定期開催を毎月末金曜日1回で継続し、県内外の地ビール・地酒ファンが集い、市内のキッチンカーも集積し毎回約3,000人の来場者が見込まれる場所である商店街だと、情報発信させた。

次の戦略として消費者の求めるものを提供できる商店街、活気ある街を目指して、令和4年に行政の補助支援を受け空き店舗を改装し、地域内の消費者に「ここ（商店街）にしかない商品がある」ことを周知すべく、地元の特産品や全国選りすぐりの逸品を販売する「物産館」や個店のこだわり商品を発信するテレビショッピングスタジオを設置した。

この取組みには、商店街の理事長が中心となって設置している実行委員会と、商店街メンバ

ーや行政のトップ等が定期的に参画し中心市街地活性化という大きな柱としており、令和4年3月に山陰の美味しいものを取り揃え販売する物産館「フードスタジオカクバン」をオープンさせた。地元の名産品や生鮮品の他、全国の逸品など400種類以上の品揃えがあり、商店街基地として連日賑わっている。この情報発信拠点の設置は観光客はもとより、地元の消費者が地元を改めて見直す機会となっている。

成果とその要因

消費者にとつて、商店街とは最も身近にある商品購入場所であり、行ってみようという魅力があり、商品がなくては通わない場所である。多くの特色ある個店のこだわり商品の情報提供と全国の逸品を購入できる拠点の設置は、他では無い情報発信機能である。また、地ビールフェスタの定期開催により多くの人が集えるようにした取組みも大きな効果となっている。

角盤町商店街振興組合

理事長：森 紳二郎
住所：鳥取県米子市角盤町1丁目27-6
設立：昭和56年2月
出資金：3,540千円
主な業種：小売業
組合員：46人



地ビールフェスタ



フードスタジオカクバン

物価上昇により需要は停滞、悪循環が継続

情報連絡員だより

2月

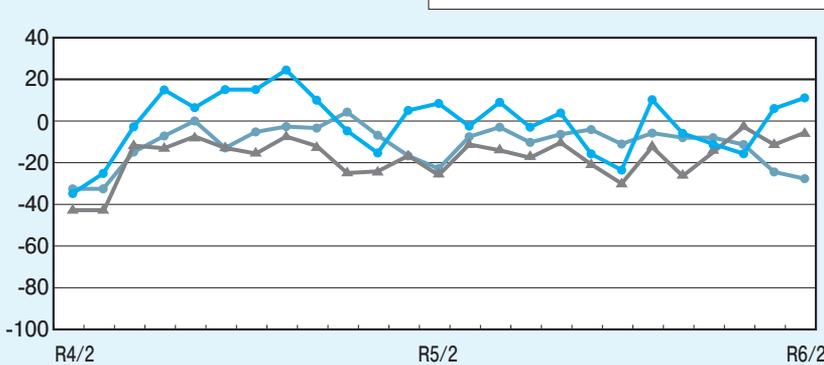
経済的不安要素に加え、人材確保難など課題は山積み

～景況DI値は、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス26.3～

全業種景況DI値は、前月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス26.3となった。製造業では、ほとんどの業種で原材料費等の高騰が続いているとともに、受注量が減少傾向となるなど厳しさを増している。非製造業では、降雪のない2月となり、観光関連では入込客数が増加し、売上高は増加、業況も好転した。小売関連ではガソリン価格の高騰など経済的不安要素が拭えず、商品値上げによる消費離れを起こす動きも散見された。県内景況は、原材料、仕入価格等の高止まりによる経費負担の増加が続き、収益を圧迫するなど厳しさが増している。価格転嫁による物価の上昇が消費マインドを低下させ、需要を停滞させるなど悪循環が継続している。また、人手不足の深刻化や最低賃金上昇による人件費増加など問題が山積しており、依然として先行き不透明な状況が続いている。

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

景気動向(前年同月比全業種DI)



製造業

【食料品】

原材料をはじめエネルギー価格は依然高止まっております。収益を圧迫している。求人に関し、最低賃金に100円以上差を付けなければ応募がなく、人材確保は困難な状況にある。味噌・醤油関連では、業界全体としての取扱数量は減少しているものの、価格転嫁により売上高は味噌・醤油ともに前年並

みで推移している。

【繊維・同製品】

暖冬の影響により冬物の動きが悪く、春夏商品への影響が懸念される。輸入品の供給過剰により衣料品の小売価格の値上げが困難な状態が継続している。

【家具・装飾品】

円安の影響による原材料等仕入価格の高騰及び燃料価格の高止まりによる輸送コストの増加により収益を圧迫している。

【木材・木製品】

製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少。合板の生産量についても前月比で減少となった。降雪の影響もあり出材は少なく丸太の価格は高くなってきている。プレカット加工の稼働率は、前月比30%減少、前年同月比は40%減で推移した。

【紙・加工品】

円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。前年同月比で売上、収益状況ともに横ばいで推移しているものの、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

ここ数年続いていた用紙やインキの高騰は落ち着きを見せている。新年度に向けた見積りや問い合わせなどが増えているほか、受注件数もコロナ禍前の水準まで回復してきている。

【窯業・土石製品】

2月の生コン出荷量は、前月比で約18%増加、前年同月比で約17%減少となった。依然として東部地区で受注量

が少なく、4月から大幅な減少が続いている。2024年問題による輸送関連の賃金の上昇に関心が持たれるが、販売価格への影響が懸念される。

【金属製品】

建築関係は、県内物件は現状では少なくなっており、低価格競争の状況。今後の見積の動きも見えておらず、厳しい状況が続くことが予想される。機械加工は、仕事量を何とか確保しているものの、全体的に少ない状況となっている。家電や産業機械関係の受注でのいであるものの、低価格競争による受注単価減少に加え、人件費等のコストアップで採算は厳しい。

【鉄骨加工】

県内の鉄骨造の物件が非常に少ないため、年明けから年度末までの受注状況は厳しい状況となる見込みである。

【金属熱処理】

2月の受注状況は前月比、前年同月比ともに若干の増加となったが、製造業全般の景気回復には至っていない。エネルギー価格に関し、電力料金は以前比べ20%程度の低下が見受けられる。

【電気機械器具】

発注側の在庫調整や生産調整が継続しており受注は依然として低迷している。原材料の供給は安定しているが、原材料価格高騰が続いており、経費増により収益面は厳しい。

非製造業

【卸売業】

青果関係では、雪が少なく、気温も高いこともあり、前月比で売上、取扱数量ともに増加、前年同月比も売上、取扱数量ともに増加した。鮮魚関係では、前月比で売上、取扱数量ともに大きく増加した。前年同月比では取扱数量は増えたものの、売上高は単価の低下により横ばいとなった。仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が見られ、影響の増大が懸念される。巻き網は、2月は時化が多くブリ類の水揚げは低迷したが、上旬は大型巻きによるサバの豊漁、下旬には隠岐島の中型巻き網も加わりイワシの大漁があり浜は活気づいた。近海物は時化が多く松葉ガニ、若松葉を始めカレイ類も絶対量が少なく、品揃えに苦慮している。

【小売業・商店街】

鳥取市の商店街では、例年より積雪は少なく、商店街内で飲食イベント等も開催されたことで来街者は増加傾向で推移している。物価高、ガソリン価格の高騰等の経済的不安要素は改善しておらず、消費者マインドの低下が続いているうえ、商品値上げによる消費離れを起こす動きも散見される。倉吉の商店街では、年度末に向けた動きが見受けられたものの、売上の増加には結び付かず厳しい状況。後継者不足が深刻化しており、商店街活気の創出が喫緊の課題となっている。米子市の商店街では、空き店舗に若者向けの古着、雑貨屋が3日間限定でオープンし、20

代の女性客を中心に来街者が増加、周辺店舗への回遊も向上した。

境港市の水産物小売では、閑散期に入り、来場者数や売上高に大きな動きは見られなかった。香港便の就航により中国などからの観光客が増加傾向にある。

【旅館・観光】

鳥取市の鳥取砂丘では、季節的な要因で入込客数が落ち込む時期であるが、例年より天候も良く、気温も高かったこともあり観光客の入込数は増加した。米子市のホテル・旅館では、この時期は閑散期に入るが、コロナの5類移行もあり前月比、前年同月比ともに宿泊客数、日帰り客ともに増加したことから収益状況も好転した。三朝温泉では、降雪もなく連休もあったことで前月より動きが見られた。クロープンの駆け込み需要もあり、例年以上に入込客が増加した旅館も見受けられたが、小規模な旅館では動きがみられなかった。羽合温泉では、2月の宿泊は前月比で横ばい、前年同月比で微増となった。宿泊単価の上昇もあり、売上高は前年同月比で増加となった。週末の宿泊はある程度確保できたが、平日の宿泊が厳しい状況であった。

【自動車整備業】

新車の販売は普通車、軽自動車を含めて1,665台で前月比が約10%増加、前年同月比は約30%の減少となった。中古車は660台で前月比約50%増加、前年同月比は約30%増加した。

継続検査は16,735台となり前月比で約30%増加、前年同月比は横ばいで推移した。

【建設業】

1月の県内公共工事発注（西日本建設業保証(株)保証取扱）は、請負金額40億円、件数83件となった。年度累計は、請負金額790億円、件数1,469件となった。公共投資、設備投資とも前年同月比でプラスとなったが、住宅投資は持家系を中心に引き続き弱い動きとなっている。住宅関係の民間工事の不振や建設資材の高止まりによるコストの増加が継続しているが、公共工事が底堅く下支えしている。4月から建設業の時間外労働の上限規制が施行されるため、対応に苦慮している。

【運輸業】

2月の物流は、復路輸送は荷物の発注情報量が減少しているため、全体的に荷物が不足傾向となっており、空車運行が増加している。燃料価格については前月価格から若干の減少で推移したものの、依然高止まりの状況が続いており、非常に厳しい。運送関連では、受注量は前月比で持ち直すも、前年同月比では減少傾向が継続している。今年4月より適用される2024年問題については、遠距離輸送を縮小し、中継基地を設け中距離へシフトしていく様子が見受けられる。

（情報連絡員 38名）

第36回全国健康福祉祭とっとり大会 ねんりんピックはばたけ鳥取2024

咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花

令和6年10月19日(土)~22日(火)



大会PRキャラクター
おおやかみじろう

大会ボランティア募集中!

大会PRやおもてなし企画提案、選手の歓迎等を行うボランティアを募集しています!

募集期間 令和6年5月31日(金)まで

団体・グループでの応募も
お待ちしております!

募集要件 県内に在住、在勤又は在学している者

応募方法 応募フォームに入力いただくか、応募用紙に必要事項を記入の上、以下の応募先までメール、持参、郵送、FAXによりご応募ください。

応募先 ねんりんピックはばたけ鳥取2024ボランティアセンター

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5 鳥取県立福祉人材センター内

電話:0857-59-6338 FAX:0857-59-6340 電子メール:nenrincv@tottori-wel.or.jp

お問い合わせ先

ねんりんピックはばたけ鳥取2024実行委員会

(鳥取県地域社会振興部ねんりんピックはばたけ鳥取2024実施本部事務局内)

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271 大会HP: <https://nenrin-tottori2024.jp/>

電話:0857-26-7908 ファクシミリ:0857-26-8741



将来の
産業人材を
地域みんなで
育てよう!

令和6年度 とっとりインターンシップ 登録企業募集!

企業のみなさまへ

登録料手数料は一切不要
初めての企業にも充実サポート

とっとりインターンシップとは

鳥取県内の産・官・学が主催するインターンシップ・仕事研究の取組で、窓口一本化による効果的な活動を通して学生の地元定着に繋げていくことを目的としています。

※窓口は中央会が担当

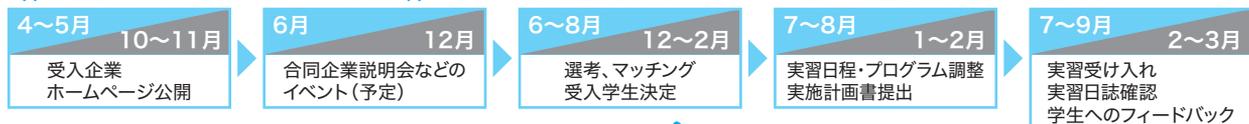
インターンシップ受入のメリット

- 学生の参加で、企業の仕事や製品に興味を持ち、将来の人材と顧客の確保につながります。
- 従業員が人材育成を経験することで、従業員が指導力向上と職場の活性化につながります。
- 企業の社会貢献に学生も参加することにより、地域社会での認知度や信頼感が高まります。
- 地域で活躍する企業として将来的な人材育成に貢献できます。

種別 どのプログラムでも目的に応じたリモート型の実施や対面型と組み合わせたハイブリッド型も可能です。

ワンデー仕事研究(1日) 業務負担が少ない1日で企業概要を理解してもらう	短期型(2日以上) 現場やロールプレイングで仕事を体験してもらう	有償型(10日以上) 自社や業界を深く知ってもらい、学生視点の取り込みで社内の活性化にも役立つ	パッケージ型(5日程度) 複数の企業体験や暮らす体験など、様々なプログラムを複合的に体験してもらう	タイプ3型(5日以上) 一定の基準を満たせば取得した学生情報を広報や採用活動に使用可能(詳しくは問い合わせください)
--	--	---	---	--

実施の流れ(春・夏休みの場合) ※ 夏は夏に実施するインターンシップの日程、■は翌年春に実施する日程です。



登録方法はとっても簡単!

「プログラム登録から運用までWEB上で一括管理」

- ①まずはアカウントを新規登録
 - ②企業プロフィールを入力
 - ③実習プログラムを入力して登録申請
 - ④ホームページ上で公開され学生募集開始
- まずはとっとりインターンシップのホームページをご確認ください
www.tottori-internship.net/company



企業の声

- 学生とのやり取りをしっかりとっていただいているので助かってます。
- プログラムの登録やエントリー状況の確認などの操作が分かりやすく、使いやすい。
- 事前にエントリーシートを提出してもらうことで、どんな学生が分かったので良かったです。
- 鳥取で働くことを希望する学生と接点を持てる良い機会となっています。

通常総会のお知らせ

- と き** **6月19日(水)**
 15:00～ 令和6年度通常総会
 16:00～ 新理事会
 16:30～ 通常総会祝賀会

と ころ **鳥取市**
「ホテルニューオータニ鳥取」



中央会・組合の 4 月 行事予定

日	曜日	行事内容・時間・場所
9	火	中部青年中央会オープン例会 19:00 倉吉未来中心
15	月	中央会共済制度推進会議 17:00 対翠閣 西部青年中央会4月例会 19:00 米子市文化センター
21	日	東部青年中央会 第20回湖山池フェスティバル 10:00

※組合等の行事を情報交換の場として組合活性化情報「中小企業とっとり」に掲載しておりますので、組合での行事等がございましたら本会までご連絡下さい。
 ※1月20日時点で把握している情報を掲載しています。

米子支所着任のご挨拶



米子支所長
西尾 浩一郎

この度、4月1日付で米子支所長として着任いたしました。西部地区の会員組合の皆様のサポートを精一杯務めさせていただきます。お気軽にご相談ください。

新入職員紹介



総務部 **田中 洋子**

3月1日より、臨時職員として勤務させていただくことになりました田中と申します。与えられた仕事に対して、責任感を持って取り組んで参る所存です。皆様にはご迷惑をおかけすることもあると思いますが、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

4月の倉吉出張所相談日のお知らせ

2日(火) 9日(火) 16日(火) 23日(火) 30日(火)

中央会人事異動

(令和6年4月1日付)

1. 昇格・人事異動

▽企画振興部長

森 本 陽一郎
 (米子支所長)

▽米子支所長

西 尾 浩一郎
 (企画振興部次長)

▽組織支援部組織・労働課主事

斧 村 優 希
 (総務部総務課主事)

2. 職員採用

▽総務部総務課課員

田 中 洋 子
 以上

今月の表紙

「大岩駅の桜並木」(岩美町)

江戸時代に干拓された典型的な日本の田園風景の広がる大谷平野を背に静かに佇む無人駅、JR大岩駅。

線路脇の県道に沿うように約1km、100本近い桜の木が植わっています。春、開花の時期になると、牧歌的な景色の中、咲き誇る桜が壮麗に立ち並ぶ様はハッと目を奪われる美しさ。山陰本線の列車と満開の桜をフレームに収めようと、鉄道写真好きに大変人気の高いビュースポットです。

編集後記

3月は2月よりも暖かくなるかなと思っていると、この時期としては異例の雪が降った日が複数回あり、なかなか気候が安定しませんでした。春は花見シーズンでもありませんので、桜が満開になるのが待ち遠しいです。

4月に入り新年度が始まりました。入学や入社、異動など環境の変化が多い時期です。慣れない環境でストレスが溜まりやすくなるため、自分の趣味に没頭することや、家でゆっくりするなど上手く息抜きをしてみてください。私もこの機会に様々なことに挑戦していきたいと思っています。

(ナゴシ)

中央会共済制度で リスクマネジメントを 万全なものとしませんか。

① 特定退職金共済制度

人材の確保・定着のキメ手、
従業員の退職金制度

② 経営者年金共済制度

経営者および家族従業員の退職金制度

③ オーナーズプラン（団体扱生命保険）

事業保全資金の確保と
経営者の退職慰労金準備のために

④ パートナーズプラン（団体扱生命保険）

従業員の皆さまのための多様な保障準備に

⑤ ビジネスJネクスト（業務災害補償保険）

企業を業務上の災害リスクから守る

⑥ 集団扱 自動車保険・火災保険

事業主および従業員のための自動車保険・火災保険

⑦ 総合賠償責任保険制度

企業を賠償責任リスクから守る



お問い合わせ

鳥取県中小企業団体中央会

TEL(0857)26-6671

中小企業とつどい 令和6年4月1日

発行人 鳥取県中小企業団体中央会

〒680-0845 鳥取市富安1丁目96

TEL(0857)26-6671(代)・FAX(0857)27-1922

倉吉出張所 〒682-0887 倉吉市明治町(倉吉商工会議所内)

TEL・FAX(0858)22-1706

米子支所

〒683-0823 米子市加茂町(米子商工会議所5階)
TEL(0859)34-2105・FAX(0859)34-6441

URL <https://www.chuokai-tottori.or.jp>

E-mail honbu@chuokai-tottori.or.jp

毎月1回1日発行 日ノ丸印刷株式会社 印行

購読料 1部 70円 TEL(0857)22-2248(代)

(会員の購読料は会費に含まれています)